

まちづくりの4つの柱

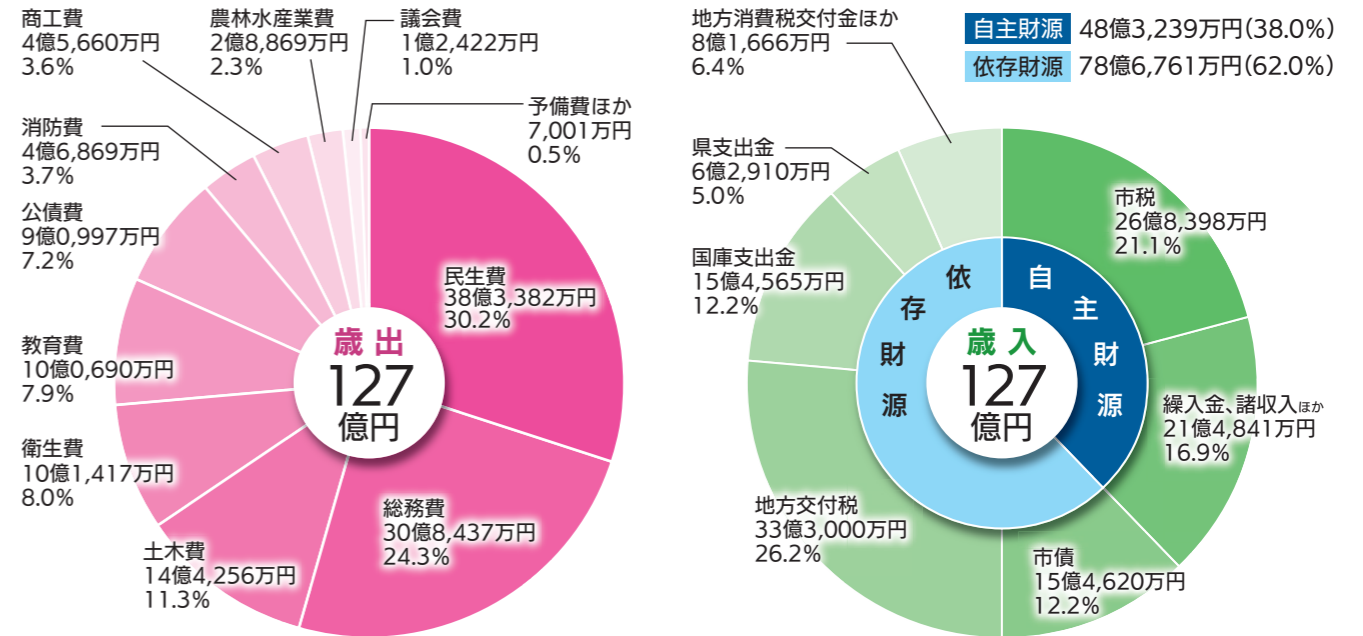


当初予算規模は、一般会計及び特別会計等を合わせて、216億4,306万円で、前年度に比べ7億4,384万3千円、3.6%の増となり、各会計間の重複額を除いた純計額は、203億2,887万2千円で、前年度に比べ7億6,863万3千円の増となりました。

一般会計は127億円で、前年度に比べ8億5,000万円、7.2%の増となりました。

一般会計の歳入（性質別）については、自主財源が48億3,238万5千円で歳入全体の38.0%を占め、前年度に比べ4億8,940万9千円の増、依存財源は78億6,761万6千円で歳入全体の62.0%を占め、前年度に比べ3億6,059万1千円の増となりました。

一般会計予算127億円の内訳



美しく生活しやすいまち

焼却場管理事務

● 下田市営じん芥処理場の適切な管理及び運営により、循環型社会の構築を推進します。

2億7,529千円

鳥獣被害対策事業

● 鳥獣による農林業被害対策事業を継続するとともに、捕獲に係る事務の効率化及び住民による鳥獣が出没しにくい地域づくりの整備を進めます。

2億9,173千円

林業振興事業

● 森林経営管理権の集積による人工林の健全化を進めるとともに、森林環境譲与税を活用した林業の活性化や広報活動に努めます。

2億0,872千円

景観推進事業

● 歴史的風致形成建造物及び下田登録まち遺産等の維持・修繕に対する助成を行い、良好な景観の形成を図ります。

4億6,688千円

都市公園維持管理事業

● 市民の交流の場や憩いの場として安心・安全に利用できるような適切な維持管理を進めます。

1億4,229万8千円

郷土への誇りと愛着を育むまち

奨学振興事業

● 地域の特徴を生かした体験事業、ニューポート市への中学生派遣等、視野を広げた交流的活動を推進する事業に対して補助します。

1億9,774千円

教育委員会事務局総務事務

● 地域と学校の交流を活性化し、地域一丸となって子どもを育てる環境作りに取り組むと共に、学校現場のICT化を推進します。

1億5,185万円

スポーツ推進事業

● スポーツ合宿・大会等の誘致を推進するとともに、市民のスポーツ環境を整備し、スポーツを通じた地域活性化に取り組めます。

2億1,677千円

都市交流事業

● 姉妹都市であるニューポート市、沼田市、萩市、御用邸所在地友好都市である那須町、葉山町等との交流に取り組めます。

5億1,276千円

グローバルシティプロジェクト

● 国際化社会で活躍できる人材の育成と地域の特色を活かした魅力的なまちづくりを推進します。

1億5,332千円

人が集い、活力のあるまち

観光まちづくり推進事業

● 自然、歴史、文化資源に新たな価値を加え、磨き上げるとともに、本市の魅力発信と認知度の向上に努めます。

1億1,701万7千円

世界一のお海づくり事業

● 海水浴場の運営補助や地域資源を生かした体験プログラム、公式サイトの情報発信等に取り組めます。

6億3,676千円

商工業振興事業

● 商工会議所等と連携した地域活性化事業の充実や、プレミアム付商品券を発行することにより、市民生活の支援・消費喚起を図ります。

5億7,297万6千円

移住・交流移住推進事業

● 地域おこし協力隊、移住サポーター等との連携、SNSを利用した情報発信を推進し、県外からの移住者や関係人口の増加を図ります。

2億3,097万4千円

みなとまちゾーンでの活性化事業

● 下田港を核としたまちづくりを官民共同で取り組んでいきます。

2億5,771千円

安全・安心なまち

新庁舎等建設推進事業

● 旧稲生沢中学校校舎と体育館を活用してコストを抑えつつ、コンパクトな新築棟を建設することで、安全で使いやすい新庁舎を整備します。

9億2,056万4千円

田牛漁港海岸保全施設整備事業

● 津波被害の軽減を図るため、田牛地区の津波対策の方針に基づき、海岸保全施設（堤防・水門・陸間）の整備を進めます。

4億0,077万1千円

消防施設等整備事業

● 消防団本部に資器材車両を購入し、消火活動等に備えた整備体制を整えます。

1億3,887万4千円

母子保健相談指導事業

● 妊娠期から出産後、乳幼児の子育て期にかけて継続した支援を進めます。

1億7,207万8千円

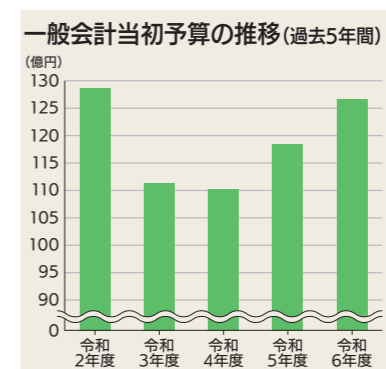
物価高騰対応重点支援給付金事業

● エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた生活者に対して、支援を行います。

1億9,877万2千円

歳出の性質別構成比率

性質	区分	構成比率
義務的経費 41.2%	人件費	18.1%
	扶助費	15.9%
	公債費	7.2%
消費的経費 33.7%	補助費等	15.8%
	物件費	17.6%
	維持補修費	0.3%
投資的経費 13.3%	普通建設事業費	13.3%
	災害復旧事業費	0%
その他の経費 11.3%	繰出金	8.6%
	積立金	2.2%
	投資及び出資金	0.5%
予備費	予備費	0.5%



◎用語解説
一般会計：市の行政運営に係る基本的な経費を計上した会計
特別会計：一般会計の歳入歳出と区別して別に処理するための会計
自主財源：市が自主的に収入できる財源
依存財源：国や県から交付される収入

特別会計及び事業会計当初予算

特別会計	予算額	増減率
稲 梓 財 産 区	190万円	-58.7%
下田駅前広場整備事業	660万円	-17.5%
公共用地取得	306万円	1.4%
国民健康保険事業	29億5,700万円	-2.3%
介護保険	27億1,800万円	0.3%
後期高齢者医療	4億7,200万円	13.2%
水道事業	12億4,070万円	-3.6%
公共下水道事業	15億0,410万円	-4.0%
漁業集落排水事業	3,970万円	皆増
合 計	89億4,306万円	-1.2%

令和6年度から集落排水事業が公営企業会計に移行しています。